

■ 計画の性格と構成

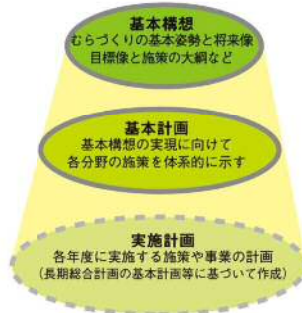
「天川村長期総合計画」は、「基本構想」および「基本計画」によって構成されます。それらの性格は、次の通りです。

(1) 基本構想

天川村の地域特性、村勢発展の状況、新たな時代の動向、国・県等の動向、住民アンケート結果等に基づくむらづくりの主要課題をふまえ、村民各層代表で構成する審議会での討議をへて、全村的な立場からむらづくりの基本姿勢と将来像を明らかにします。そして、将来像実現の柱とする目標像、人口フレーム、土地利用構想、施策の大綱を示します。この基本構想は、基本計画の基調をなすものです。

(2) 基本計画

基本構想の具体化と目的達成のために、どのようにその実現に取り組んでいくかを明らかにするものです。各行政施策については、これまでの基本計画の成果や進捗状況をふまえて見直し、新たな課題に対応する施策を設定し、施策の大綱に基づいて基本テーマを設け、施策を体系的に示します。また、とくに重要で横断的な課題については、重点プロジェクトとして取り組むものとし、この基本計画においては、施策の実現の可能性を重視します。



■ 計画の目標年次

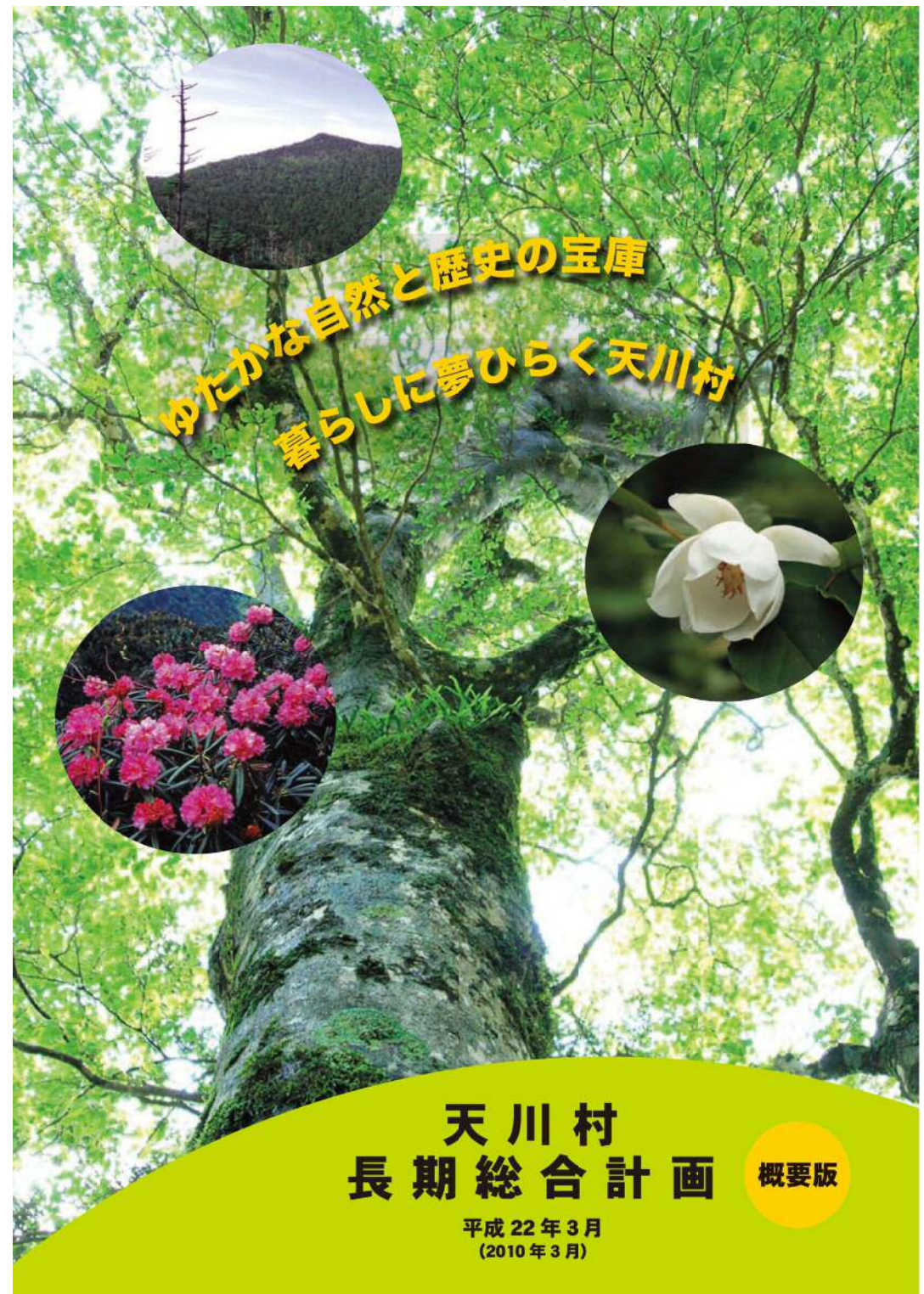
(1) 基本構想

平成 22(2010) 年度を基準年度として、平成 31(2019) 年度を目標年度とします。

(2) 基本計画

平成 22(2010) 年度を基準年度として、平成 26(2014) 年度を目標年度とします。

平成 22 (2010) 年度	平成 26 (2014) 年度	平成 31 (2019) 年度
基本構想		
基本計画		



ゆたかな自然と歴史の宝庫
暮らしに夢ひらく天川村

天川村 長期総合計画

概要版

平成 22 年 3 月
(2010 年 3 月)

長期総合計画基本構想

■ 基本姿勢

わが国が人口減少時代を迎えたことに対応し、国は国土の「利用と保全」を重視した計画、及び国と地方の協働によるビジョンづくりへの転換を図るとしています。

また、地球温暖化問題との関連により、2050年までに温室効果ガスを60～80%削減し「低炭素社会」をめざすとし、環境保全による経済成長と地域活性化をめざす環境立国を戦略としています。基本となる視点は「持続可能性」で、持続可能な環境、経済、社会保障、地域社会、財政など、各分野で注目されています。

地方自治体もまた「持続可能性」を問われ、肥大化した業務を見直し、行財政改革に取り組んでいます。こうしたことと地方分権の推進に伴って、わたしたちは新しい地方の時代を迎えています。そこで、村民（住民、企業、各種団体など多様な主体）と行政は、天川村のむらづくりに、次のような姿勢で取り組みます。

(1) みんなで支え合う、思いやりのあるむらづくり

わたしたちは、地域の自然と歴史に恵みを受け、地縁ある人々と共に生きる暮らしを大切に、互いに必要とすることを思いやり、ささえ合う、こころあぐむらづくりに取り組みます。

(2) 村民と行政の協働による、自治のむらづくり

むらづくりにあたっては、行政はみんなの知恵と力を結集し課題に対応していくことができるよう、透明性のある十分な情報公開のもとに、村民と行政の協働による自治のむらづくりに取り組みます。

本村では、近年、道路、上水道、下水道、し尿処理などの生活基盤整備や学校統合など、かなりの進展をみました。けれども、人口流出はつづき、自然環境は悪化し、基幹産業の林業は長期停滞し、就業環境は悪化しています。

そこで、国が地球温暖化防止に向けて、荒廃した森林と林業の再生を積極的に支援していることを受け、本村もたかな自然環境の保全と森林・林業の再生に取り組む、産業を活性化し、都市との交流を活性化しながら、若者の定住やU・J・Iターン等の促進を図る必要があります。そして、高齢化と過疎化が進むに伴い集落の人間関係の稀薄化が懸念されるなかで、地域の自然と共生し、地縁ある人々と共に生きてきた質実な暮らしを見直しながら、山間地の魅力を生かした本村ならではの新しい共生のむらづくりに取り組む必要があります。

こうしたことから、天川村の将来像と人口フレーム、これをささえる6つの目標像、重点プロジェクト等を設定します。

村の将来像

ゆたかな自然と歴史の宝庫 暮らしに夢ひらく天川村

本村の産業の振興と就業の場の拡大を図りながら、若者の定住を可能にするとともに、居住希望者の受け入れ体制を整えること等を前提として、将来人口のフレーム（住民基本台帳人口）を次のように設定します。

人口フレーム 平成31年度(2019年度) 1,500人

村の目標像と各分野の主なテーマ

1 自然環境の保全と森林の多面的機能の再生

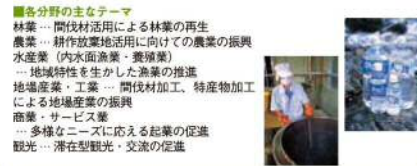
わたしたちは、すこやかな生命を育む自然環境を美しく健全な形で将来世代に継承していくよう、自然環境の保全、多様な生物の保全、森林の多面的機能の再生、森林の活用に取り組めます。このため、自然再生推進法に基づく取り組みや、林業と連携して間伐や複層林化を進め、地崩れ防止、水源涵養・水質浄化機能の増進、野生動物の積極的管理による棲み分けの回復、地球温暖化防止機能の回復などを促します。



■各分野の主なテーマ
自然環境保全…自然と歴史・文化と生活環境を保全する
治山・治水…長期的視点からの土地利用の指導
廃棄物処理…環境にやさしい生活の促進

2 就業の場を拡大する活力ある地場産業づくり

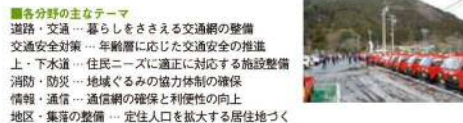
わたしたちは、人口の流出を抑制し定住を促進するため、産業の活性化により安定した就業機会の拡大に取り組みます。環境に配慮した農林業など、本村の自然資源と自然と共生する文化を生かして新しい時代のニーズに応えるように、地場産業の活性化に努めます。また、観光について、村の経済に波及効果をもたらすよう滞在型観光が伸びるように図ります。



■各分野の主なテーマ
林業…間伐材活用による林業の再生
産業…耕作放棄地活用に向けた農業の振興
水産業(内水面漁業・養殖業)
—地域特性を生かした漁業の推進
地場産業・工業…間伐材加工、特産物加工による地場産業の振興
商業・サービス業
—多様なニーズに応える起業の促進
観光…滞在型観光・交流の促進

3 安全で、安心して暮らせる生活基盤づくり

わたしたちは、暮らしを共にする人々と、生活の場の安全と安心をまもる基盤づくりに取り組みます。過疎化と少子高齢化の進行するなかで、自然災害や火災に対応できる人手は減少しているため、村民がお互いに支えあって対応するとともに、行政もこれを支え、協働のむらづくりとして取り組みます。同時に、行政は高齢者や女性、少ない人手でも安全が維持・保全できる生活基盤づくりに取り組むとともに、定住人口の拡大に向けて、空き家の利用を促進・支援します。



■各分野の主なテーマ
道路・交通…暮らしをささえる交通網の整備
交通安全対策…年齢層に応じた交通安全の推進
上・下水道…住民ニーズに対応する施設整備
消防・防災…地域ぐるみの協力体制の確保
情報・通信…通信網の確保と利便性の向上
地区・集落の整備…定住人口を拡大する居住地づく

4 共に支えあう思いやりのある地域福祉のむらづくり

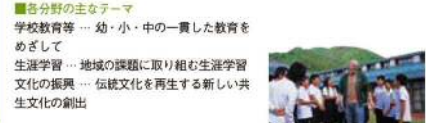
わたしたちは、将来世代の負担を抑制するよう健康づくりや介護予防に取り組むとともに、高齢者等が生きがいをもって社会参加できる環境づくり、及び、すこやかに子どもが誕生し育つ環境づくりを進めます。ひとり暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯などが住みにくい環境となっており、相互扶助活動やボランティア活動の拡大に取り組み、互いに支えあい、安心してくらせる、あたたかなふれあいのある福祉のむらづくりに進めます。



■各分野の主なテーマ
保健・医療…生涯にわたる健康づくり
福祉等…地域の相互扶助と連携した在宅福祉の充実
人権教育…差別のない明るい社会づくり

5 地域の課題解決に取り組む生涯学習のむらづくり

わたしたちは、環境開発がもたらした諸々の因果関係について学習する貴重な機会を得ています。地域に取り組むにあたっては、他地域から学ぶとともに、地域に生涯をかけて暮らした先人たちの知恵や文化、あるいは、地域の歴史文化に大きな影響を及ぼしてきている修験道にも多くのことを学ぶことができます。そこで子どもたちと共に、地域に学び地域の問題に取り組む生涯学習のむらづくりに進めます。



■各分野の主なテーマ
学校教育等…幼・小・中の一貫した教育をめぐり
生涯学習…地域の課題に取り組む生涯学習
文化の振興…伝統文化を再生する新しい共生文化の創出

6 村民の主体的な参加と協働による自治のむらづくり

わたしたち村民と行政は互いに協力し、協働のむらづくりに進めます。対話を増やし、情報公開を進め、課題に取り組む場づくりを進めます。また、村民が直面している課題について自主的に学習したり、事例を検討したり、試行をしたりしながら、効果的で最適な解決策を見出し、解決に取り組んでいくことを支援します。行政は、村の課題について、国・県や周辺市町村等と連携し、個性ゆかたなむらづくりに結びつけていきます。



■各分野の主なテーマ
コミュニティづくり
…みんなで集落の課題に取り組むむらづくりの推進
…みんながむらづくりの主体になる課題対応力のある行政
計画的・効率的財政

プロジェクト・1 自然と歴史と共生するむらづくり

本村の山岳では森林荒廃が進み、野生動物の生息環境が大きく変化して「獣害」が生じ、人と自然の共生が課題になっています。そこで、大自然に伏して自然に回帰する行を実践する修験道や、モノや資源を大切に使い続けた質実な伝統文化に学びながら、地域にある再生可能な自然エネルギーの利用への転換を図り、間伐とその利用を促進し、地球温暖化防止への取り組みを推進します。広葉樹林化や針広混交林化による森林の多面的機能の再生を進め、野生動物との棲み分けを促し、省エネ省資源の自然に根ざした持続可能な新しい共生の文化のむらづくりに取り組みます。

■ 主な施策

- 1 自然再生推進法にもとづく自然再生の取り組み
- 2 世界文化遺産登録に伴う大峯奥駈道の自然と歴史・文化の保全
- 3 間伐促進と温暖化防止への取り組みの推進
- 4 林業との連携による森林の多面的機能の再生
- 5 針広混交林化や天然更新による広葉樹林化
- 6 獣害対策による野生動物との棲み分けの推進
- 7 木質バイオマス燃料の活用等、エネルギーの地産地消の検討・促進
- 8 環境にやさしい有機農業の推進
- 9 修験道や伝統文化に学ぶ生涯学習の推進
- 10 省エネ・省資源の質実なライフスタイルへの取り組み
- 11 環境にやさしく、誰でも利用しやすい公共交通の検討
- 12 学校教育との連携
- 13 自然と共生する地域文化づくり



プロジェクト・2 定住化の促進と地場産業づくり

村民と行政の協働により、総力をあげて地場産業の活性化、就業の場の拡大、若者等の定住を図ります。
◎林道作業路網の整備と間伐を計画的に進め、間伐材を加工し「木質バイオマス燃料」を製造し、地産地消を進めます。これは本村の自然環境の再生や林業活性化だけでなく地球温暖化対策にもなり、カーボンオフセット制度等により国や大企業からの支援も見込めますので、適切な制度利用を図ります。
◎遊休農地(耕作放棄地)の活用に向けて、環境にやさしい有機農業による、換金性が高く労働負担が少なく、獣害が少ない作目の特産物づくりを進め、農業生産法人立ち上げの支援を図ります。
また、地元事業者の育成に向けて、農産物や加工品は村内での流通・消費(地産地消)を基礎として、観光との連携やネット販売等による販路拡大に取り組み、村民と協働で特産品を育てるよう図ります。
◎小学校の跡地利用により、定住化を促進する産業の活性化を進めます。
◎大淀町や五條市を通勤圏と捉え、若者定住支援と就業支援を進めます。

■ 主な施策

- 1 計画的な林道作業路網の整備と間伐の促進
- 2 森林組合の活性化推進と若年労働者の確保
- 3 間伐材の燃料用加工の検討と推進
- 4 広域との連携による合板・集成材加工の検討
- 5 公共施設へのポイラー・薪ストーブ導入の検討と推進
- 6 地元の木材利用の促進
- 7 特産物とする作物の検討・選定の促進
- 8 農産物や堆肥の地産地消の促進
- 9 観光との連携やネット販売による特産品の販路拡大の支援
- 10 小学校跡地利用の促進
- 11 空き家・耕作放棄地活用支援
- 12 事業資金や起業への支援、就業支援の強化
- 13 中央地区での宅地造成と若者定住支援



プロジェクト・3 …都市との交流づくり

本村の各集落には、挙家離村に伴いかなりの空き家と耕作放棄地があります。これらの空き家と耕作放棄地がほとんど利用されずにいると、持続可能な集落づくりを妨げることにもなります。そこで、挙家離村者の協力を促します。
◎空き家、空閑地、耕作放棄地等の有効活用について、転出者に、天川村の課題、集落の高齢化や過疎化の現状、ふるさと納税制度、特別村民制度等について広報活動を進め、Uターンを促す情報を提供するとともに、空き家・耕作放棄地活用への協力を要請します。同時に、空き家・耕作放棄地活用を集落住民と行政との協働で取り組むしくみをつくり、都市居住者のUターン、長期滞在、二地域居住、定住等を支援し、地域の活性化につなげます。
◎インターネットでむらづくりの情報、観光情報、特産物情報、特別村民制度の情報、天川村の空き家・空閑地・耕作放棄地などの情報、定住支援情報、就業支援情報などを扱うウェブサイトを検討します。
◎天川村で研究活動を行う研究者や大学、村の文化に友好的な事業者等との交流の活性化を進めます。また、著名人に観光大使としての協力を依頼します。
◎自然回帰のニーズに応えてきた本村の特色ある歴史を生かしながら、「大自然の癒しの場」としての滞在型観光・交流の充実を図ります。

■ 主な施策

- 1 挙家離村者との交流(転出者向け広報)
- 2 空き家・耕作放棄地を活用するしくみづくり
- 3 むらづくりのNPO等の支援
—天川村来訪者等との交流の促進
—特産物等のネット販売の促進
- 4 都市との滞在型観光・交流の促進
- 5 研究者や大学等との連携の推進
- 6 大都市でのアンテナショップ開設支援



基本計画の重点プロジェクト